

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	飯田5地区自治振興センター運営事業	会計	一般会計	事業No.	6	施策順No.	72-002
		事業種別	政策・重点	予算科目	2-1-5-10-5		
政策	7 自立・連携した地域づくり	課等名			地域づくり・庶務課		
施策	72 自立に向けた住民組織力の向上	事業期間	開始	19	終了		

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	橋北、橋南、羽場、丸山、東野の各まちづくり委員会					A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできてない Dほとんど達成できていない						
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)						19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		まちづくり委員会の数						5	5	5	5	5	
	意図	円滑な団体事務の実施											
対象をどう変えるか	意図	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)					19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
		市が支援する雇用事務員の数					5	5	5	5	5	5	B
		市民意識調査において、参加している社会活動として「まちづくり委員会等」と回答した市民の率(%)					13.5	25.8	25.4	27	26.3	28	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	市民意識調査の数値は向上しており、自治活動組織としての「まちづくり委員会」の認知度は向上している。												

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	1 窓口機能が無く、まちづくり委員会の事務を支援する市職員のいない橋北・橋南・羽場・丸山・東野の各まちづくり委員会の事務を支援する。 人件費補助 600千円以内×5地区		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	5地区まちづくり委員会活動事務支援	助成件数	5
23年度実施計画	5地区まちづくり委員会活動事務支援	助成件数	5

3 事業コスト

事業費	(千円)				特定財源内訳、補足事項
	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額		
特定財源	国庫支出金				
	県支出金				
	起債				
	その他				
一般財源	3,000	3,000	3,000		
	計 (A)	3,000	3,000	3,000	
	正規職員所要時間		20		
	臨時職員等所要時間				
	人件費計 (B)		72		
	トータルコスト A+B		3,072		

4 事業に対する市民や議会の意見

まちづくり委員会の事務負担は年々増加しており、補助額引き上げの要望もある。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	住民組織が、地域で考え地域で活動し、役割を果たせる組織となること。	施策の成果指標又はムトス指標	市が支援する雇用事務員の数 まちづくり委員会等に参加している市民の率(%)
この事務事業は施策の目的達成にどのよう に貢献しましたか	4年間の振り返り	飯田5地区のまちづくり委員会に対して事務員の人件費を補助することにより、まちづくり委員会の事務所機能が格段に向上し、まちづくりにおける主体的な取り組みを行う環境づくりができた。		
	後期に向けた課題	引き続き支援することで、まちづくり委員会の活動の充実を図る。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	事務員の勤務条件や役割を明確化することにより、事務処理の円滑化を図った。		
	後期に向けた課題	さらに、まちづくり委員会役員、地域住民、自治振興センター所長をつなぐ事務員の役割(機能)が発揮できるよう工夫する。		
コストを削減するためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	1地区600千円を上限として、実績の範囲で補助金を交付している。		
	後期に向けた課題	1地区600千円を上限として、実績の範囲で補助金を交付する。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	他の15地区自治振興センターのまちづくり委員会等が行う地域づくりの活動に対する事務支援に比して極めて小さな経費で有効な支援が行えている。		
	後期に向けた課題	引き続き、1地区600千円を上限として、実績の範囲で補助金を交付する。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしてきましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り	①主体は、飯田5地区まちづくり委員会で、地域づくりの多様な主体の中心的役割を発揮している ②事務員の人件費を補助することにより、円滑な活動の推進に貢献している。		
	後期に向けた課題	①飯田5地区まちづくり委員会には、今後も地域づくりの多様な主体の中心的役割が期待される ②今後も事務員の人件費を補助することにより、円滑な活動の推進を支援する。		
全体を通じて	4年間の振り返り	飯田5地区のまちづくり委員会に対して事務員の人件費を補助することにより、まちづくり委員会の事務所機能が格段に向上し、まちづくりにおける主体的な取り組みを行う環境づくりができた。		
	後期に向けた課題	今後ますます、まちづくり委員会の活動が増大することが予想される。事務員に期待される役割、事務量も増えることが予想されるので、状況の変化に応じた支援(補助金の増額)について研究を行う。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要がありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------